

水辺の街に息づく  
歴史と文化

# 東播磨 磨石



## ガイドマップ Higashiharima Guide map



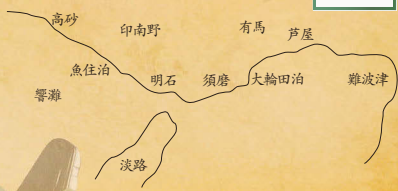
明石市 加古川市 高砂市 稻美町 播磨町

### 源氏物語ゆかりの地を訪ねる

『源氏物語』の中でも、特に人気の高い「明石」の巻。京の都を離れ、須磨の地で過ごしていた失意の光源氏は、明石に移り住みます。

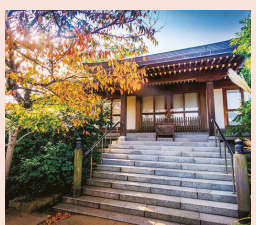
あはと見る 淡路の島の あはれさへ  
残るくまなく 澄める夜の月  
明石市には、光源氏が望郷の思いで詠んだとされる歌にある景色や、舞台とされる神社仏閣が多くあります。物語ゆかりの地を訪ねてみましょう。

京都の上流貴族社会を舞台に描かれた『源氏物語』で、明石は、主人公の光源氏がはじめて移り住んだ畿外の地です。そしてここで出会った明石入道、その娘の明石の君は、物語後半にとても大きな存在になります。平安時代のみやこびとから見れば遙か遠い土地にも、当時から京都に劣らない文化と魅力的な人物が存在したことがうかがえます。須磨から明石へ移るきっかけとなるご神託を授けた住吉の神、光源氏が月見をした屋敷のモデルとなった寺院、明石入道の住居とされる寺院、光源氏が明石の君の元へ通ったとされる道のほか、江戸時代になって、明石藩主・松平忠国が創作整備した史跡もあります。明石には、源氏物語ファン、初心者問わず、魅力的な源氏物語スポットが満載です。



### 無量光寺 むりょうこうじ

浄土宗本派の寺で明石西国三十三ヶ所第二番  
光源氏が月見をした屋敷のモデルとして伝わる。大正時代には劇作家で評論家の倉田百三が逗留、武者小路実篤らと交流していたといい、文学とのかかわりが深い。



**明石市 大観町10-11 MAP N-10**  
山陽電鉄西新町駅から徒歩10分  
参拝自由  
無料 なし



### 鳶の細道 つたのほそみち

光源氏になった気分で歩いてみてはいかが  
無量光寺山門前の道で、光源氏が明石入道の一人娘・明石の君が住む岡辺の館へ通った道のモデルとされる。沿道には鳶の細道の碑や文学遺跡「源氏物語の里」の解説板が立つ。



**明石市 大観町10-11(無量光寺前) MAP N-10**  
山陽電鉄西新町駅から徒歩10分  
078-918-5080(明石観光協会)  
通行自由 無料 なし



### 善楽寺 戒光院 ぜんらくじ かいこういん

明石の君の父の暮らしに思いを馳せる  
大化年中に天竺の僧法道仙人が開創した天台宗の寺。平清盛が再興したゆかりの寺でもある。明石入道の浜の館があったとされ、明石藩主松平忠国が建てた明石入道の碑や、光源氏古跡、明石の浦の浜の松碑がある。



**明石市 大観町11-8 MAP N-10**  
山陽電鉄西新町駅から徒歩8分  
078-917-5070  
参拝自由 無料 なし



### 住吉神社 すみよしじんじや

海に向かって鎮座し航海の安全を願い見守る  
『源氏物語』のなかで、光源氏と明石の君は、住吉の神の導きによって結ばれることになる。明石魚住の住吉神社には、光源氏と明石の君が描かれた良縁祈願絵馬がある。



**明石市 魚住町中尾1031 MAP J-10**  
山陽電鉄山陽魚住駅から徒歩5分  
078-946-0417  
参拝自由 無料 あり



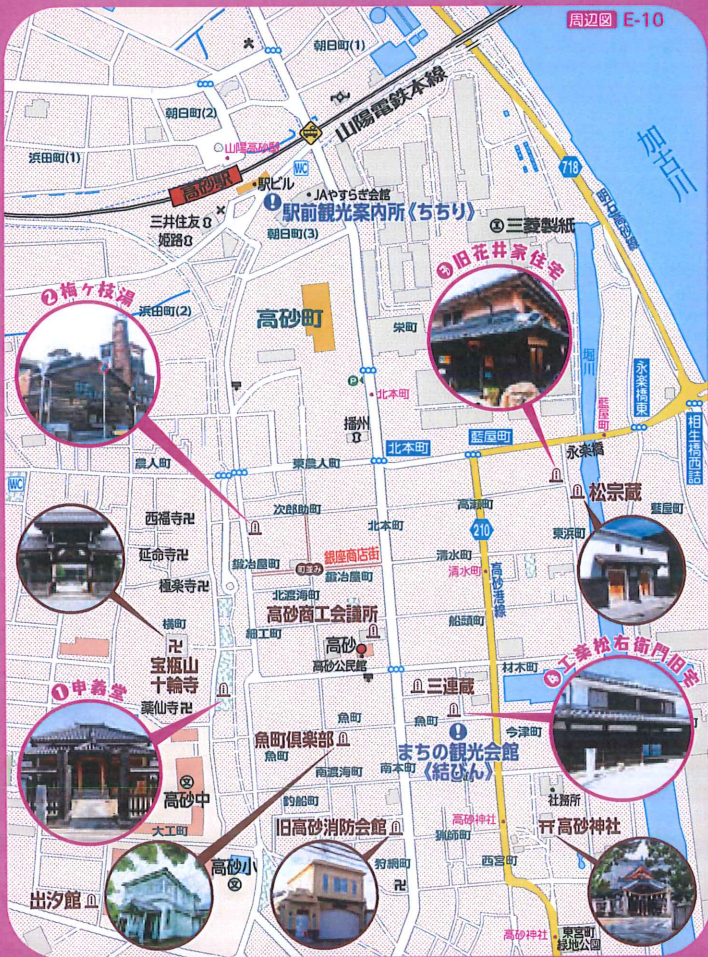


日本遺産に登録された「日本の街」を歩こう

# 高砂の街並み



山陽電鉄の高砂駅から出発して南へ。かつて国鉄高砂線が走っていたゆるやかにカーブする道を歩いています。10分ほど歩くと、県の歴史的景観形成地区に指定された高砂地区に入ります。昭和レトロな商店街から始まり、煉瓦煙突の木造銭湯、町家や洋館、江戸時代の町割りど、見どころや立ち寄りどころがあちこちに。また、かつて北前船の寄港地として賑わった港町もあり、その栄華をしのぼせるスポットもあります。



## ① 申義堂

江戸時代、庶民の教育の場として創設された学問所。木造平屋建ての寄棟造、本瓦葺きで、当時の姿に復元されている。

☎079-448-8255



## ② 梅ヶ枝湯

物語に登場しそうなレトロなたたずまいが印象的な木造の建物。創業約80年の老舗銭湯で、地元の人たちの憩いの場になっている。

☎079-442-0985



## ③ 旧花井家住宅

漆喰の壁や虫籠窓が特徴の町家建築で、かつて肥料問屋として栄えた当時の趣を残している。国登録有形文化財。

☎079-441-8076

(高砂市観光交流ビューロー)



## ④ 工業松右衛門旧宅

趣のある舟板塀や漆喰の軒裏など約200年前の姿に復元された。北前船寄港地・船主集落の栄華を今に伝えている。

☎079-490-4790

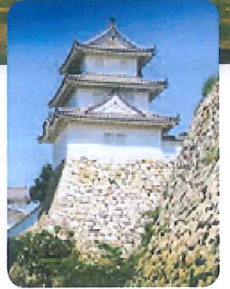


# 歴史と文化

## あかしこうえん 明石公園

明石城跡を中心に造られた様々な皇かな公園

明石城は1619(元和5)年徳川2代将軍秀忠の命により、初代明石藩主小笠原忠政によって築城された。大正7(1918)年、城跡を中心としたエリアを県立公園として開園した。本丸跡に建つ巽櫓(たつみやぐら)と坤櫓(ひつじさるやぐら)は、日本に12基しか現存していない三重櫓のうちの2つで、国の重要文化財に指定されている。市街地中心にありながら園内は豊かな樹々におおわれ、四季を通じて園内の風景に彩りを添えている。また、園内には各種運動施設やインクルーシブ遊具があり、土日を中心に多くの利用者でにぎわっている。



明石市 明石公園1-27 MAP N-9

☎JR明石駅から徒歩5分  
☎078-912-7600  
☎園内自由 ☎入園無料 ☎あり



## かきのもとじんじや 開柿本神社

淡路と明石海峡を望み柿本人麻呂をまつる  
1620(元和6)年当時、明石城主・小笠原忠政が歌聖・人麻呂を崇敬し、今の地に遷座したのが始まり。人麻呂の命日とされる旧暦3月18日(現在4月の第2日曜)には、計4基の神輿が練り歩き、おいににぎわう。

明石市 人丸町1-26 MAP N-9

☎山陽電鉄人丸前駅から徒歩5分  
☎078-911-3930 ☎無休 ☎9:00~17:00、詣祈願受付は~16:00、授与品受付は~16:30 ☎参拝料無料 ☎あり



## あえじんじや 開阿閉神社

海の安全を静かに見守りながら鎮座する  
県指定の文化財である本殿は一間社春日造、檜皮葺の同形同規模の本殿が南北線上に並び珍しい様式。海上交通の守護神である住吉三神と、神功皇后の息長帯姫命(おきながたらしめのみこと)をまつる。

播磨町 本荘4-11-21 MAP G-10

☎山陽電鉄播磨町駅から徒歩15分  
☎079-435-2918  
☎園内自由 ☎参拝料無料 ☎なし



## まんりょう もり 万葉の森

「いなみ野」と瀬戸内海を模した日本庭園  
古来より万葉集で「いなみ野」と詠まれた稲美町にある日本庭園。園内には約120種類の万葉植物や「いなみ野」が詠まれた歌碑、庭が一望できる憩いの館などがある。近くには稲美町立郷土資料館もある。

稲美町 国安1286-7 MAP I-7

☎JR土山駅から神姫バス上新田北口行きで12分、稲美中央公園前下車すぐ  
☎079-492-3770(稲美町立郷土資料館) ☎月曜、年末年始  
☎9:30~16:00、7~9月は~17:00 ☎入園無料 ☎あり



## てんまじんじや 開天満神社

天神様のもとで催される秋の奇祭は必見  
653(白雉4)年に王子権現として創建され、菅原道真が主祭神。現社殿は1701(元禄14)年に造営されたもの。10月第2日曜に催される、神輿を大池に浮かせ沈みさせて豊年万作を祈願する秋祭りは奇祭として有名。

稲美町 国安539 MAP I-7

☎JR土山駅から神姫バス上新田北口行きで6分、国安下車すぐ  
☎079-492-0741 ☎園内自由 ☎参拝料無料 ☎あり







## 加古川市 鶴林寺

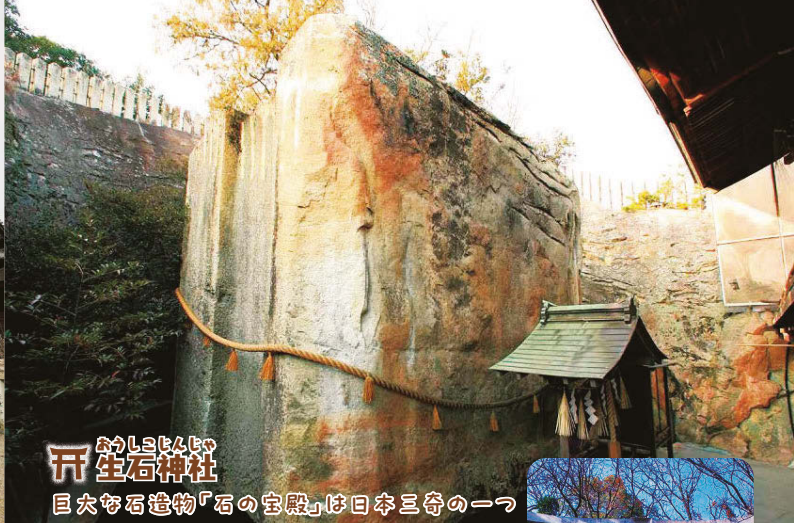
聖徳太子ゆかりの「刀田の太子さん」

加古川市街・尾上街道と鶴林新道に囲まれた一角にある。587(用明天皇2)年、聖徳太子が教えを受けるために高句麗出身の僧・恵便を訪ね、後に3間4面の精舎を建立させ刀田山四天王聖霊院と名付けられたのが始まりとされる。聖徳太子が解説書を作成した3つの経典のうちのひとつ『法華経』講讃の寺として知られ、「刀田の太子さん」と親しまれている。『刀田』は山号、「太子さん」とは鶴林寺を創建した聖徳太子のこと。「播磨の法隆寺」とも言われている。国宝の本堂や太子堂、兵庫県指定文化財の恵便法師像をはじめ見るべきものも多い。



加古川市 加古川町北在家424 MAP F-9

JR加古川駅からバス別府ルートで10分、鶴林寺下車すぐ  
☎079-454-7053 無休 9:00~16:30(閉門17:00)  
入山料・宝物館セット券800円 あり



## 高砂市 阿弥陀町生石171 MAP C-8

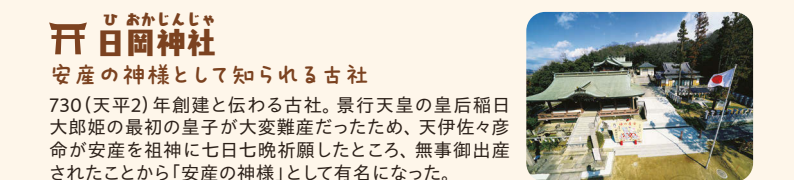
巨大寄石造物「石の宝殿」は日本三奇の一つ

第10代崇神天皇の御代創建の古社で、大穴牟遲命と少毘古那命が御祭神。裏手には切妻風の突起を後ろにして家を横たえたような横6.5m、高さ5.6m、奥行7.5mの巨大な石造物がある。これは「石の宝殿」と呼ばれ、水面に浮かんでいるように見るところから「浮石」ともいわれている。『播磨國風土記』によれば、聖徳太子の時代に物部守屋によって建立されたところとあるが、時代的にも矛盾があり、その実態は謎に包まれている。御釜神社の四口の神籠(宮城県)、霧島東神社の天之逆鉾(宮崎県)とともに日本三奇に数えられ、国の史跡にも指定されている。



高砂市 阿弥陀町生石171 MAP C-8

JR宝殿駅からしょうとんバスふれあいの郷生石行きで7分、終点下車、徒歩10分 ☎079-447-1006  
無休 参拝自由 参拝料100円 あり



## 加古川市 日岡神社

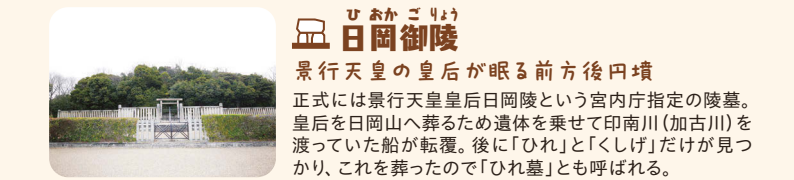
安産の神様として知られる古社

730(天平2)年創建と伝わる古社。景行天皇の皇后稲日大郎姫の最初の皇子が大変難産だったため、天伊佐々彦命が安産を祖神に七日七晩祈願したところ、無事御出産されたことから「安産の神様」として有名になった。



加古川市 加古川町大野1755 MAP F-7

JR加古川線日岡駅から徒歩4分  
☎079-422-7646  
無休 9:30~16:00 参拝料無料 あり



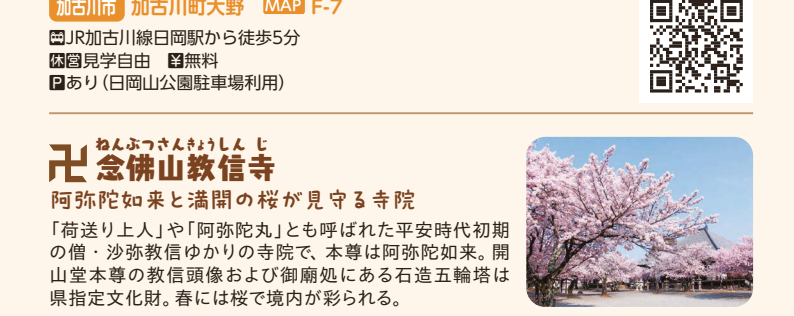
## 加古川市 日岡御陵

景行天皇の皇后が眠る前方後円墳

正式には景行天皇皇后日岡陵という宮内庁指定の陵墓。皇后を日岡山へ葬るため遺体を乗せて印南川(加古川)を渡っていた船が転覆。後に「ひれ」と「くしげ」だけが見つかり、これを葬ったので「ひれ墓」とも呼ばれる。

加古川市 加古川町大野 MAP F-7

JR加古川線日岡駅から徒歩5分  
無休 参拝自由 無料 あり(日岡山公園駐車場利用)



## 加古川市 念佛山教信寺

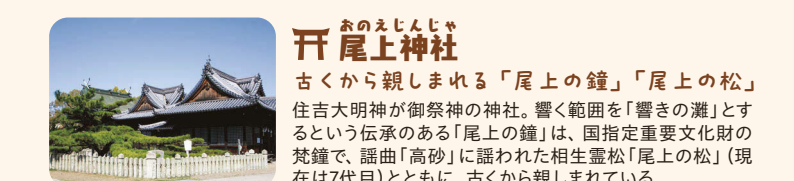
阿弥陀如来と満開の桜が見守る寺院

「荷送り上人」や「阿弥陀丸」とも呼ばれた平安時代初期の僧・沙弥教信ゆかりの寺院で、本尊は阿弥陀如来。開山堂本尊の教信頭像および御廟処にある石造五輪塔は県指定文化財。春には桜で境内が彩られる。



加古川市 野口町野口465 MAP F-8

JR加古川駅から神姫バス土山駅南口行きで7分、野口下車すぐ  
☎079-422-7189  
無休 参拝自由 参拝料無料 あり

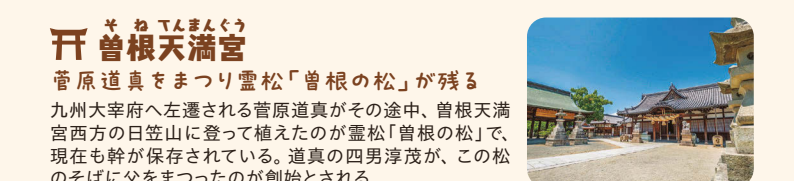


## 加古川市 尾上神社

古くから親しまれる「尾上の鐘」「尾上の松」住吉大明神が御祭神の神社。響く範囲を「響きの灘」とするという伝承のある「尾上の鐘」は、国指定重要文化財の梵鐘で、謡曲「高砂」に詠われた相生霊松「尾上の松」(現在は7代目)とともに、古くから親しまれている。

加古川市 尾上町長田518 MAP E-9

山陽電鉄尾上の松駅から徒歩15分  
☎079-422-5676 無休 6:00~18:00(閉門、宝物見学は要予約)  
参拝料無料 あり



## 高砂市 曾根天満宮

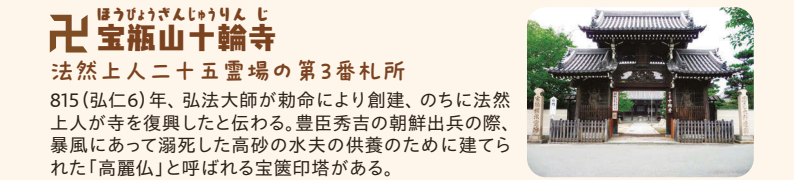
菅原道真をまつり霊松「曾根の松」が残る

九州大宰府へ左遷される菅原道真がその途中、曾根天満宮西方の日笠山に登って植えたのが霊松「曾根の松」で、現在も幹が保存されている。道真の四男淳茂が、この松のそばに父をまつたのが創始とされる。



高砂市 曾根町2286-1 MAP C-9

山陽電鉄山陽曾根駅から徒歩5分  
☎079-447-0645  
無休 参拝自由 参拝料無料 あり



## 高砂市 宝瓶山十輪寺

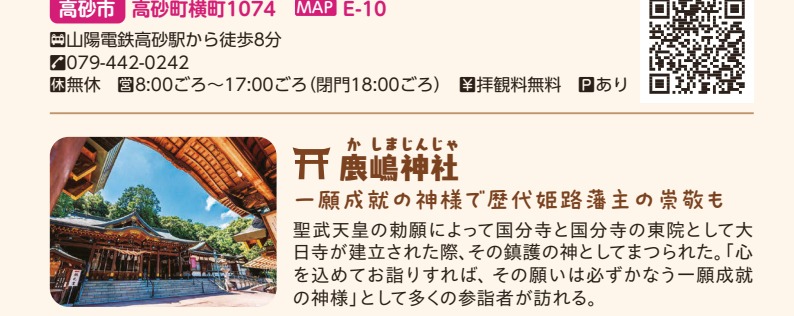
法然上人二十五霊場の第3番札所

815(弘仁6)年、弘法大師が勅命により創建、のちに法然上人が寺を復興したと伝わる。豊臣秀吉の朝鮮出兵の際、暴風にあって溺死した高砂の水夫の供養のために建てられた「高麗仏」と呼ばれる宝篋印塔がある。



高砂市 高砂町横町1074 MAP E-10

山陽電鉄高砂駅から徒歩8分  
☎079-442-0242  
無休 8:00ごろ~17:00ごろ(閉門18:00ごろ) 参拝料無料 あり



## 高砂市 鹿嶋神社

一願成就の神様で歴代姫路藩主の崇敬も

聖武天皇の勅願によって国分寺と国分寺の東院として大日寺が建立された際、その鎮護の神としてまつられた。「心を進めてお語りすれば、その願いは必ずかなう一願成就の神様」として多くの参詣者が訪れる。

高砂市 阿弥陀町地徳279 MAP B-7

JR曾根駅から神姫バス鹿島神社行きで10分、終点下車すぐ  
☎079-447-4676  
無休 参拝自由 参拝料無料 あり



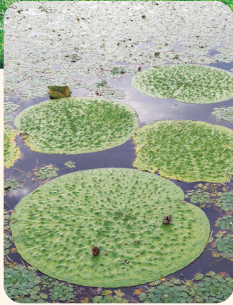




## はりまのおなかごたいむら 播磨大中国古代の村

「オポナカムラ」として親しまれる遺跡公園

1962(昭和37)年に町内の中学生によって発見された大中遺跡は、弥生時代後期(約1800年前)から古墳時代初期(邪馬台国 卑弥呼と同時期)の代表的な遺跡で、長さ500m、幅180mで、広さ約70,000㎡。1967(昭和42)年に国の史跡に指定され、1972(昭和47)年から「播磨大中国古代の村」として整備された。弥生語で『大中村』を意味する「オポナカムラ」として親しまれている。これまでに遺跡全体の20%の面積を調査が行われていて、140軒の竪穴住居跡が見つかっている。竪穴住居のほか弥生時代の植物が復元されている。



**播磨町 大中1-1-1(兵庫県立考古博物館) MAP H-9**

JR土山駅から徒歩15分 ☎079-437-5589(兵庫県立考古博物館)  
 月曜(祝日の場合は翌日休)、年末年始  
 9:00~18:00、10~3月は~17:00 入園料無料 あり



## はりまのむらびと しりあかん 播磨町郷土資料館

弥生時代の出土品やことばで当時は学べる

大中遺跡の出土品を展示するほか、古代語(弥生語)が聞けるコーナーがある。新聞の父・ジョセフ・ヒコや新井開削の父・今里傳兵衛といった郷土の偉人、かつてこの地を走っていた別府鉄道の機関車や客車の展示も必見。



**播磨町 大中1-1-2 MAP H-9**

JR土山駅から徒歩20分 ☎079-435-5000  
 月曜(祝日の場合は翌日休)、年末年始 9:30~18:00、10~3月は~17:00 入館料無料 あり(兵庫県立考古博物館駐車場利用)



## ひょうごけんりつこうこはくぶつかん 兵庫県立考古博物館

縄文時代から江戸時代までの流れを体験

博物館の活動に主役として参加できる参加体験型博物館で、土器・石器・住居跡・古墳・窯跡などを常設展示。さまざまなテーマで展示会や体験型展示会、まが玉づくりなどの体験会、セミナーなどを年間を通じて開催する。

**播磨町 大中1-1-1 MAP H-9**

JR土山駅から徒歩15分 ☎079-437-5589 月曜(祝日の場合は翌日休)、年末年始 9:00~17:00、ミュージアムショップ・カフェは10:00~17:00 入館料200円、特別展は別料金 あり



## いなみちのむらびと しりあかん 稲美町立郷土資料館

先人が開拓した「いなみ野」の歴史をたどる

万葉の森に隣接する資料館。入ヶ池遺跡から出土した矢じり、弥生時代の土器片から農具など、歴史的遺産を保存・展示する。併設の「播州葡萄園 歴史の館」では明治の官営ワイナリー播州葡萄園についても学べる。



**稲美町 国安1286-55 MAP I-7**

JR土山駅から神姫バス上新田北口行きで15分、稲美中央公園前下車すぐ ☎079-492-3770 月曜、年末年始 10:00~16:00 入館料無料 あり



## あかしりつぶんかほくぶつかん 明石市立文化博物館

明石のあゆみを原始から現代まで展示

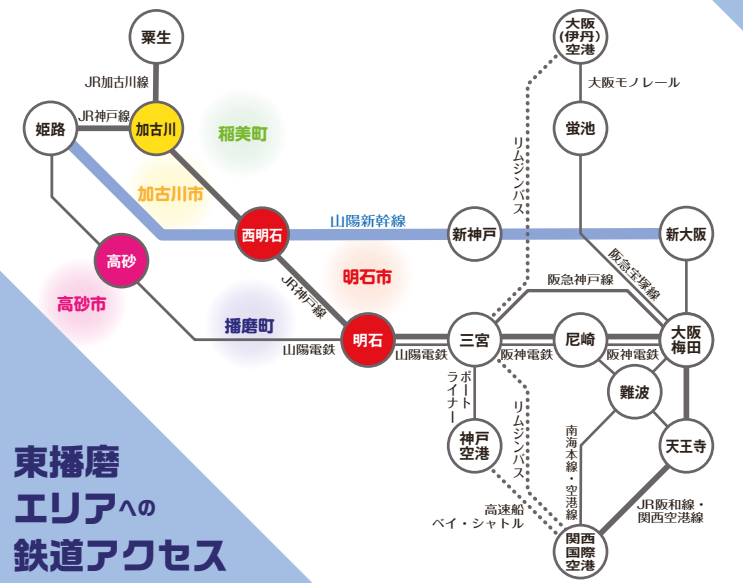
常設展では「人々の暮らしと自然環境」と題し、明石の歴史と文化を「明石のあけぼの」から「のびゆく明石」まで8つのテーマで紹介する。アカシソウや明石原人に関する展示は必見。ほかに特別展や企画展も開催される。

**明石市 上ノ丸2-13-1 MAP N-9**

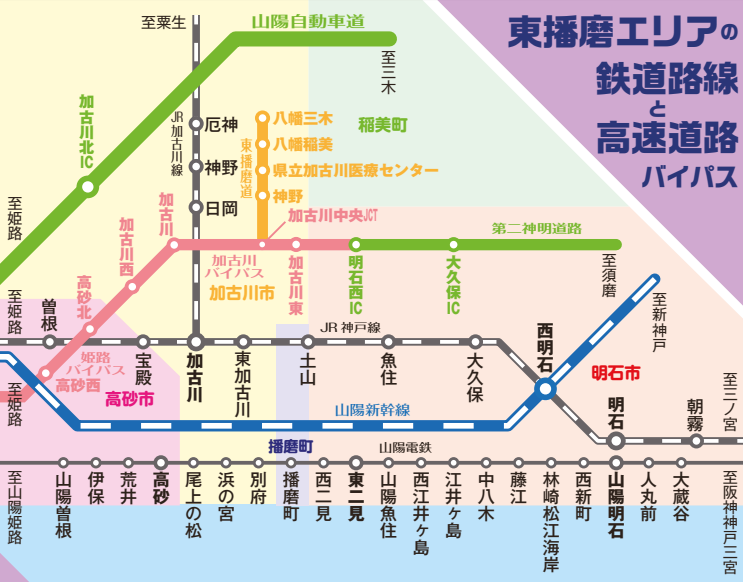
JR明石駅から徒歩5分 ☎078-918-5400 月曜(祝日と特別展開催期間中は開館)、年末年始 9:30~17:30(特別展開催期間中は~18:30) 観覧料200円、特別展開催期間中は特別料金 あり



## 東播磨エリアへの マイカーアクセス



## 東播磨 エリアへの 鉄道アクセス



## 東播磨エリアの 鉄道路線 と 高速道路 バイパス

## 発行/兵庫県東播磨県民局

〒675-8566 加古川市加古川町寺家町天神木97-1  
 TEL 079-421-1101(代表)  
[https://web.pref.hyogo.lg.jp/area/e\\_harima/index.html](https://web.pref.hyogo.lg.jp/area/e_harima/index.html)



## 協力/東播磨産業・ツーリズム振興協議会

<https://www.e-harima-tourism.jp>



このガイドマップの記載内容は、2024年3月現在のものです。内容等が変更される場合がありますので、最新情報をご確認ください。

● 2024.3発行 05東播③3-001A1